

令和6年度(2024年度)
日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会(共催:物理探査学会)
研究発表会プログラム

日時:2024年7月5日(金) 14:30~17:00

開催形式:対面・オンライン併用

14:30~14:35 開会挨拶(趣旨説明)

14:35~14:38 オンライン接続等調整時間

14:38~14:53 【一般発表】

1. 日本応用地質学会 能登半島地震災害調査団 参加報告

○大津滉介 1、千田敬二 2、金山健太郎 2、田近淳 2 (1 災害地質研究部会 委員、(株)ドーコン、2 災害地質研究部会 幹事)

14:54~15:09 【一般発表】

2. 降下テフラの風化によるハロイサイトバンドの形成と斜面防災への応用

○福井宏和 1、松四雄騎 2 (1 北海道大学、2 京都大学)

15:10~15:20 【現場報告発表】

3. 安平町早来の露頭に見られる地層の変形について

○松井 昭 1、清水 龍来 1 (1 日本工営株式会社)

15:20~15:30 休憩

15:30~15:45 【一般発表】

4. 沖積錐に着目した機械学習による土石流危険流域の抽出手法の構築

○川上源太郎 2、興水健一 1、石丸 聡 2、今泉文寿 3 (1 北海道立総合研究機構法人本部、2 北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所、3 静岡大学農学部)

15:46~16:01 【一般発表】

5. 防災カルテ点検で着目される落石に対する点群計測機器適用性に関する分析

○川又 基人 1、坂本 尚弘 1、日外勝仁 1、倉橋 稔幸 1 (1 寒地土木研究所)

16:02~16:12 【現場報告発表】

6. ダム基礎掘削面の観察手法事例 -オルソ画像を用いた岩盤スケッチとスケッチのとりまとめ手法の紹介-

○田子義章 (株式会社ドーコン)

16:12～16:20 休憩

16:20～16:35 【一般発表】

7. ハンドヘルド型蛍光X線分析装置を用いたボーリングコア試料の重金属分析事例

○山崎秀策 1、倉橋稔幸 1 （1 寒地土木研究所）

16:36～16:46 【現場報告発表】

8. 音波探査による漁場環境の見える化

○丸山純也 1、内田康人 1、檜垣直幸 1 （1 北海道立総合研究機構）

16:47～16:57 閉会挨拶（総括）

17:10～18:40 意見交換会（優秀講演者表彰） 会費 2,000 円(発表者 1,000 円)

※ 7月2日（火）頃より講演要旨のダウンロードが可能となる予定です。詳細は日本応用地質学会北海道支部ホームページ（<http://www.jseg.or.jp/hokkaido/index.html>）をご覧ください。

※ CPD の受講証明につきましては日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会より発行します。